



参加団体様用マニュアル (2023年度版)

2023.10.12初版

このたびは、「Kizukuプロジェクト」にご賛同いただきありがとうございます。

「Kizukuプロジェクト」とは、清掃活動を通じて、いつも歩いている道に落ちているゴミに気づいたり、いつも歩いている道をキレイにしている人がいることに気づいたり、日々の中にある小さな感謝の種に気づく事で、自己成長のきっかけ作りをする小学生向けの掃除教育プロジェクトです。

本資料は、Kizukuプロジェクトに関して、参加における手順をご案内するマニュアルとなっております。本紙をご参照の上、活動へのご参画を何卒よろしくお願い致します。

目次

1. なぜ今、掃除教育なのか (P.3)
2. プロジェクト内容 (P.5)
3. 参加申し込み方法 (P.6)
4. 参加企業様への準備とお願い (P.7)
5. 費用・注意点 (P.8)
6. 問い合わせ先 (P.9)

見えるものばかりが評価や価値の基準になりがちな現代社会。

収入・偏差値・試験の点数などの数値化できるものを重視するあまり、良い教育や良い医療は富める者しか手にすることができなくなってしまい、より多く持ちより大きくなるのが豊かな人生の基準になっているように感じるのは私だけではないと思います。

事実、その結果として無意味な競争が生まれ、心の貧困が加速し社会問題となっています。

では、本当に豊かな人生とは何でしょうか。

私は小さなころ、祖母に「心の貧乏だけは絶対してはならない。お金は自分では操作できないことで失うことがあるけれど、心の豊かさは自分で築けるんだから」と教わりました。心が豊かであれば、何かに左右されることなく真に豊かな人生が送れると伝えなかったのだと今では理解しています。

では、豊かな心とは何でしょうか？

2010年代以降、非認知能力とよばれる数値化することが難しい能力が注目を浴びています。その中には誠実性や自己認識、忍耐力や好奇心、セルフコントロールなど人間性に係わる心理特性があり、それらを育てることの重要性が指摘されています。つまり数値化されるものの得点の前に、数値化されない「やる気」「自主性」「主体性」「協調性」などの豊かな心を育む教育が大切であるということです。

では、豊かな心を育てるにはどうすればいいのでしょうか。

心を育むことを目的としたスクールは多くありますが、授業料が発生するため誰にでも受けられるわけはありません。私は、日常生活の中に豊かな心を育てる機会が沢山埋まっていると考えており、そのひとつが掃除(ゴミ拾い)であると信じています。

なぜ掃除(ゴミ拾い)が豊かな心を育てるのか。

掃除(ゴミ拾い)は目に見えないものを見る力を育む力があります。何故なら、汚れやゴミは隠れていることが多いからです。また掃除(ゴミ拾い)という仕事自体も目に見えずに日常を支えている仕事の一つであり、その非日常を体験することには大きな気づきがあるからです。

また、実際に掃除やゴミ拾いをするには、汚れやゴミを「自主的」に見つける必要があります。次にその汚れやゴミを「主体的」に除去します。その汚れやゴミを除去するのが困難であれば、良い方法がないか調べるなどの探求心を働かせねばなりません。もし掃除(ゴミ拾い)を複数人で実施するのであれば、実施する場所の分けや役割分担、時間配分をすることとなり、「協調性」や「計画性」「戦略性」が必要となってきます。

そして何よりも、掃除やゴミ拾いをする場では職業や立場・学歴・年齢・性別・国籍などは全く関係なく、皆平等であることで多様なコミュニケーションと学びの機会が生まれ、心を育むのです？

とはいえ、掃除が嫌いな人が多いのも事実です。

そこでKIZUKUプロジェクトでは、掃除(ゴミ拾い)の前に、何故掃除をし、キレイであることが何故大切なのかをまず知ることが大切と考えております。やらされる掃除(ゴミ拾い)からやりたい掃除(ゴミ拾い)に変えるのがKIZUKUプロジェクトの大きな特徴です。

最後になりますが、不自由なく過ごしている日常。そのあたりまえのように過ごしている日常を支えているものが一体何かを考えたことはありますでしょうか。

何気なく過ごしている日常の多くは、意識しなければ見えてこない社会活動によって支えられています。世界最古の木造建築である法隆寺。1400年もの間、崩れることなく続いているのは間違いなく時代を超えて多くの人々がメンテナンスをしてきたからです。しかし、どれだけの人がそれらの人々を目にしたことがあるでしょうか。またどれだけの人が法隆寺を訪れてそれらの人々を意識するでしょうか。

フランス パリではストライキにより市内では未回収のゴミが推計1万トンに達し、ネズミが500万匹発生するといった問題が発生しました。この問題のように今まであたりまえに回収されていたゴミが、ある日突然回収されなくなった時、今まで見えてこなかった非日常が顕在化するのです。何かの事情でそれらの社会活動が止まり、それによる問題が顕在化した時に初めて視界から意識へと入り込み、その時には今回のパリのように大きな問題となっていることが多いのです。

人間関係も同じです。目に見えない人が私たちの日常を支えてくれています。

あなたの住まいをキレイにしてくれているのは誰でしょうか？

あなたの洋服を洗濯してくれている人は誰でしょうか？

あなたの食事を作ってくれているのは誰でしょうか？

一人で生きているという方もいるかもしれませんが、あなたが手にしているものを作ってくれたのは誰でしょうか。

誰でも人に支えられていることは明らかですが、そこに意識が向かないことが多いのも事実かと思えます。だからこそ、見えないものを見ようとする力はとても大切なのです。見えない所で支えてくれている人を意識することはより多くの感謝を生み、それを抱き感謝の気持ちを伝えることは、心だけでなく対人関係や恋愛関係にも良い影響を与えることがわかっているからです。

つまり、目に見えない部分にこそ社会や人生を支える大きな基盤があり、それを意識することがコミュニティや地域、世界の平和に繋がり、その見えない部分を見る力を養う力が、掃除(ゴミ拾い)にはあるのです。

誰にでもできる掃除(ゴミ拾い)を学び・実践する事を通じて、豊かな心を育み、豊かな人生を歩きませんか？

STEP
1小さな感謝の種に気付く
きっかけづくりのためのお掃除セミナー

時間は15分程度なので、子どもたちも飽きずに聞くことができます。

「ゴミ収集している人がいなくなったら街はどうなる？」「掃除する意味ってなんだろう？」とワイワイ雑談しながら、ゴミ収集の重要性や掃除の意味について、子供たちが自発的に考え、なぜ掃除が大切かを学びます。また、目に見えない部分に気付く事で、自然と感謝を抱くきっかけの場を提供します。

ゴミ収集が滞ったり、掃除が行われなくなると街はどのような状況になるのか、それによって生活や環境にどのような影響があるのかを知ることで、やらされる掃除からやりたいたい掃除に変えるのがKizukuプロジェクトの大きな特徴です。

STEP
2

3～4人でチームを作り、みんなで地元のゴミ拾い

※天候が悪い場合は、お掃除セミナーのみの実施とします。



3～4人の子供たちと大人がチームになってゴミ拾いを行います。

宝物を見つけるような楽しいゴミ拾いは、いわば"トレジャーハント"のような体験です。

また、STEP1で学んだ内容を踏まえ、ペットボトルを発見した時には、「ペットボトルは土にかえるまで400年かかるんだよ」などと、子供たちに対して興味を持たせる豆知識も伝えます。このような活動を通じて、ゴミの廃棄物としての影響や環境問題について考えるきっかけとなります。



ご参加くださった皆さんに
オリジナルゴミ袋をプレゼント

KizukuプロジェクトHPより、参加申請を行ってください

<https://kizuku-project.com/entry/>



Kizuku 未来から学ぶプロジェクト

パートナー企業参加申請フォーム

企業の皆様へ

Kizukuプロジェクトは、子供と大人がゴミ拾いを通じて豊かな心を育むプロジェクトです。

「なぜキレイが大切なのか」を頭と体を使って体感することで、多くの知と豊かな心の発育を促進させます。

また、掃除やゴミ拾いをする場では職業や立場・学歴・年齢・性別・国籍などは全く関係なく皆平等であることから、地域に開かれたコミュニティの場ともなる活動です。

地域の子供たちのために、誰にでもできるゴミ拾いを通じて豊かな心を育む場を生み出していきたいませんか。
ご支援いただけますと幸いです。

参加企業マニュアルをご一読の上、申請フォームより申請してください。

[参加団体様用マニュアル >](#)

企業名 **必須**

代表者氏名 **必須**

メールアドレス **必須**

電話番号（半角） **必須**

参加人数 **必須** 大人 人 小学生 人

備考

申請内容はこれでよろしいでしょうか？
よろしければチェックを付けて送信して下さい

1 会場とプロジェクターの準備

参加者全員が入れる会場とプロジェクターが必要です。
1時間程度使用します。

2 清掃場所の策定

清掃活動時間は、1時間位が目安です。清掃場所の策定をお願いします。

3 3週間前までに参加人数をまとめる

参加者全員、レクリエーション保険に加入します。開催日3週間前迄に参加者の氏名と生年月日をお知らせ下さい。保険手続きはこちらで行います。

4 保護者同伴の参加を促して下さい

本プロジェクトは子どもだけでなく、親子で学ぶことで理解を深めることを目的としています。是非、保護者様もご参加いただけるようご説明ください。

5 写真撮影と掲載について

活動の様子などを写真撮影します。その写真は「kizukuプロジェクト」のHPやSNSなどに掲載します。その旨を参加者全員にお伝えいただき、顔出しNGなどの参加者を把握しておいて下さい。

費用について

以下の費用は、活動日に使用する参加記念用のごみ袋代、参加者全員のレクリエーション保険代として使用します。

余剰分は「Kizukuプロジェクト」運営費用に回させていただきます。

なお、参加費用の運営は事務局が行います。

10名～20名	21名～30名
¥20,000	¥30,000

注意点

※天候が悪い場合は、お掃除セミナーのみの実施とします。

※集まったゴミは、御社で処分をお願いします。

※活動終了後、参加者に「Kizukuプロジェクト」オリジナルごみ袋をお渡しします。ごみ袋が使われる自治体のルールに従って使用して下さい。

※後日振り返り会を開催します。皆様のご意見等を今後の活動に活かします。

※この活動に賛同して頂ける、企業様のご紹介を頂ければと思います。

(名 称)

第1条 本会は、Kizukuプロジェクトと称する。

(目 的)

第2条 本会は、会員相互の協力、協調のもとに、掃除教育・清掃活動等を通じて、地域社会に貢献することを目的とする。

(活動内容)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。

1. 清掃に関するセミナー
2. 清掃活動
3. 上記2つの活動による地域貢献活動。
4. その他目的を達成するための活動

(事務所)

第4条 本会の事務所は、株式会社カナツク企画 水元開発センターに置く。

(会 員)

第5条 本会の目的に賛同する会員により構成する。

(役員の種類)

第6条 本会に次の役員を置く。

1. 会 長 1名
2. 副会長 1名(初年度は不在)
3. 会 計 1名(初年度は、有限会社光永ビルサービスに属する)
4. 監 事 1名(初年度は不在)

(選出の方法)

第7条 本会役員については、会員の互選により選出する。

(職務分掌)

第8条 本会役員の職務は次のとおりとする。

1. 会 長 会を代表し、会務を統括する。
2. 副会長 会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
3. 会 計 会の出納事務を処理し、会計に必要な書類を管理する。
4. 監 事 会の会計監査を行う。

(任 期)

第9条 本会役員の任期は、1年とし、再任を妨げない。

(会計年度)

第10条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月末日に終わる。

(財 政)

第11条 本会の活動に要する諸経費は、会費・寄付金等によって賄われるものとする。

(監査と報告)

第12条 会計監査は、会計年度終了後に監査を行い、会員に報告する。

(その他)

第13条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は役員会が細則を定めることができる。ただし、会員の承認を得なければならない。

(付 則)

この規約は、2023年4月1日から実施する。

<Kizukuプロジェクト事務局>

Mail:info@kizuku-project.com

